



1 高崎藩士戦死の碑

駅から徒歩15分



8 大曾根繁蔵の墓

(梅沢峠入口) 駅から徒歩20分



狙い、松



9 ふるさとセンター(歴史民俗資料館)

駅から徒歩15分



7 久保田藤吉・斎藤仲次の墓

駅から徒歩10分



6 義烈千秋の碑 駅から徒歩8分

駅から徒歩8分



2里見家 蔵の弾痕

駅から徒歩15分



2里見家 蔵の弾痕

駅から徒歩15分



5 野村丑之助の墓

義烈照千古の碑

駅から徒歩3分



4 高崎藩士切腹の場

駅から徒歩8分



3 水戸天狗党本陣 桜井家

駅から徒歩5分

(大正期の火災により再建された建物です)



下仁田戦争跡

1	高崎藩士戦死の碑	明治26年11月16日、下仁田戦争30周年を記念して最大の激戦地であったこの地に建立されている。※「高崎藩士戦死の碑」の文字は勝海舟 書
2	高崎藩本陣 里見家 蔵の弾痕	高崎藩は小坂名主・里見治兵衛宅前に陣を構えたが、水戸天狗党の3面奇襲を受ける。里見家 蔵には当時の弾痕が残る。
3	水戸天狗党本陣 桜井家	本陣には総大将・武田耕雲斎、山国兵部、田丸稲之衛門ほか幹部数10名が宿営。 ※大正六年の火災で消失（再建）。
4	高崎藩士切腹の場 (青岩河原)	捕らえられた高崎藩士7名が処刑された。
5	野村丑之助の墓 (水戸天狗党)	初陣の丑之助は13歳。田丸稲之衛門の小姓。 右手を切り落とされる重傷を負ったことから、願って首を打たれた。
6	義烈千秋の碑	篆額「義烈千秋」は、小松宮彰仁親王の書。碑文は依田百川。 明治33年、旧水戸藩士が下仁田警察署長に赴任した際、資金を募集して建立。
7	久保田藤吉、斎藤仲次の墓 (水戸天狗党)	久保田、斎藤の身分や年齢は不問だが、安導寺の戦いで戦死し本誓寺に埋葬された。
8	大曾根繁蔵の墓 (水戸天狗党)	安導寺の戦いで戦死。
9	ふるさとセンター (歴史民俗資料館)	(狙い松) 下仁田戦争で、水戸天狗党が高崎藩本陣を攻撃する際、この松を利用したことから、それ以降「狙い松」と呼ばれた。昭和17年頃松根油を採取する目的で伐採された。

凡例

———— は下仁田戦争当時の主道

は現在の国県道町道

◀ ■ ■ ■ ■ は水戸天狗党の三面奇襲攻撃